

## 平成 28 年第 4 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	5	佐藤弘樹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員人材育成にメンター制度導入の考えについて</li> <li>2 防災士育成と連携策について</li> <li>3 市民病院各分院との連携現況について</li> <li>4 (仮称) 鹿島台駅西口広場整備の考えについて</li> <li>5 旧鹿島台第二小学校施設の有効活用策について</li> <li>6 歩道橋ネーミングライツ事業の創設について</li> <li>7 いじめ問題への取り組み状況について</li> </ol>
2	14	只野直悦	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国内・国際都市交流の推進について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 姉妹都市交流サミットの成果と、今後の方策について</li> <li>(2) 人材育成としての青少年交流の推進と課題について</li> <li>(3) 大崎市都市交流事業補助金の基準の見直しについて</li> <li>(4) 大崎市人材育成基金の創設について</li> </ol> </li> <li>2 消防団の育成支援について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防団員の処遇改善について</li> <li>(2) 分団活動交付金の創設について</li> </ol> </li> <li>3 宝江用水路(田尻大貫)の改修について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2期地区工事が待たれているが、県との協議等の経過について</li> <li>(2) 今後の見通しとスケジュールについて</li> </ol> </li> </ol>
3	10	加藤善市	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小学校統合と地域の振興策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 校舎の活用について</li> <li>(2) 学区の考え方</li> <li>(3) 小学校廃校と地域の振興策をどのように考えるか</li> </ol> </li> <li>2 産業サミットの考え方について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ささ結の販売における市とJAの関係</li> <li>(2) 商工会議所の新しい役員との関係</li> <li>(3) 農商工連携の考え方</li> </ol> </li> <li>3 市民と市役所について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民にとって市役所は便利なところか</li> </ol> </li> </ol>
4	13	遊佐辰雄	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 放射性廃棄物の処理について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 知事が提案した「一斉焼却」への市長の対応</li> <li>(2) 焼却処理の安全性はどう認識しているのか</li> <li>(3) 住民合意をどう得ようとしているのか</li> <li>(4) 焼却以外の処理方法について</li> <li>(5) 東京電力と国の責任の認識について</li> </ol> </li> <li>2 畜産振興策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 繁殖牛生産基盤(簡易牛舎)推進事業への取り組み状況について</li> <li>(2) この推進事業を有効活用すべきではないか</li> <li>(3) 推進事業に障害となっている原因と、その改善策はどう考えているのか</li> <li>(4) 他産業への影響もあるのではないか</li> </ol> </li> </ol>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	9	木村和彦	<p>1 中心市街地の今後について</p> <p>(1) 広域消防本部建設の事業の連携について</p> <p>ア 消防本部の連携について</p> <p>1) 大崎広域行政事務組合では、消防本部の建設に向け、用地取得等、その作業が着々と進められている。旧市民病院の解体工事の遅れがさきの全員協議会で報告があったが、今後の周辺整備、子育て支援施設整備などを含む周辺整備の今後について伺う</p> <p>2 農業遺産登録に向けた運動経過と、観光立市を標榜する市長の観光連携の考え方について</p> <p>(1) 期待される農業遺産登録の経過</p> <p>ア 時期、今後の経過</p> <p>イ 観光、温泉、体育施設、ラムサール条約、大崎の宝</p> <p>1) どのような連携を想定するのか</p> <p>ウ 大崎市の施策として優先順位は（観光について）</p> <p>3 指定管理制度について</p> <p>(1) 指定管理の基本的な考え方</p> <p>ア 指定管理の検証方法</p> <p>1) 指定管理者としての資格要件の検証</p> <p>イ 施設移譲とコストパフォーマンス</p> <p>1) 指定管理を外して、地域に管理を委ねる全面的な施設移管の考えは</p> <p>4 子育て支援と教育指針について</p> <p>(1) 学校統合と放課後児童保育</p> <p>ア 統合の考え方と放課後児童の扱いに矛盾は</p> <p>イ 保護者（PTA）と地域住民の意見の相違をどう扱うか</p> <p>ウ 良きレガシーにするために、コストについての説明を</p>
6	4	氷室勝好	<p>1 移住・定住の拡充について</p> <p>(1) 「おおさき市地方創生総合戦略」に基づき、移住・定住促進策に取り組んでいるが、その成果等について伺う</p> <p>(2) 将来像の人口フレームの数値について、現在東北12番目である人口を10番目を目標とするとのことであるが、その方策について伺う</p> <p>(3) 優良市有地の宅地分譲化の促進について伺う</p> <p>2 スポーツ振興策について</p> <p>(1) スポーツ推進体制整備事業に取り組む中で、課題、問題点として、スポーツをマネジメントする人材の育成や体制の整備が急務とのことであるが、その内容について伺う</p> <p>(2) イベントの参加人数がふえており、従事者をふやすとのことであるが、その取り組みについて伺う</p> <p>(3) 社会体育施設の整備及び管理運営の今後の方策について伺う</p> <p>3 文化財保護について</p> <p>(1) 地域の貴重な文化財保護の実態について伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	8	鎌内つぎ子	<p>(2) 多彩な地域文化の継承、形成として、特に文化団体、さらに文化財所有者を重点対象とされているが、その取り組みについて伺う</p> <p>4 林業振興について</p> <p>(1) 林業労働力の確保と、担い手組織及び人材育成の推進が肝要であるが、その取り組みについて伺う</p> <p>(2) 大崎市産材の地域内利用の実態と、その促進と拡大の方策について伺う</p> <p>(3) 多方面での木材利用の推進策として、木質バイオマスの熱源システムの構築と木質チップの利用拡大の今後の取り組みについて伺う</p> <p>1 放射能汚染廃棄物の試験混焼について</p> <p>(1) 住民合意の考え方</p> <p>(2) 住民理解が得られない場合の対応</p> <p>2 子育て支援拠点施設整備基本計画について</p> <p>(1) 子育て中の保護者等の声がどれぐらい反映されているのか</p> <p>3 旧市民病院本院南病棟の利活用について</p> <p>(1) 市との協議は怎么样了なのか</p> <p>(2) 回復リハビリテーション等の議論はされているのか</p> <p>(3) 利活用については期限を設けるべきではないか</p> <p>4 空き家対策について</p> <p>(1) 所有者がいない場合の管理について</p>
8	7	相澤久義	<p>1 工業団地整備の考え方について</p> <p>(1) 鶴巻工業団地候補地の調査状況と今後の見通し</p> <p>(2) 今後の工業団地整備の考え方</p> <p>2 遊休資産処分の考えについて</p> <p>(1) 現在、市内には遊休資産はいくらあるのか（土地面積、施設数）</p> <p>(2) 危険性の高い施設の解体処分計画</p> <p>(3) 活用法、売却の考え方</p> <p>3 ブランド米推進の考え方について</p> <p>(1) ささ結の今年度の作付面積、収穫量と販売目標、販売戦略</p> <p>(2) 大崎市独自の認証制度の考え方</p> <p>(3) 発芽玄米「金のいぶき」栽培推進の考え方</p> <p>4 公園管理の考え方について</p> <p>(1) 市内には都市公園を初め、多くの公園があるが、管理もまちまちである。今後の管理の考え方について伺う</p>
9	17	山田和明	<p>1 大崎市が障がい児、障がい者を守る政策の取り組みについて</p> <p>(1) 重度障がい児の現状把握について</p> <p>(2) 障がい児が保育所に入れる、入れないの基準はあるのか</p> <p>(3) 重度障がい児が保育所に入所できない状況であるが、</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	22	豊嶋正人	<p>その解決のため、障がい児の子どもを育てていくのに安心したサービス基盤整備の確立をすべきであるが、どうか</p> <p>(4) 障がい者が自宅で入浴介助を希望したが、希望どおり生活支援が受けられない状況もあり、大変な時期でのサポートは必要ではないのか、伺う</p> <p>2 聴覚障がい者が装着する人工内耳の負担軽減を図ることについて</p> <p>(1) 聴覚障がい者で人工内耳（スピーチプロセッサ）を装着する方で、買いかえ時には助成の確立を図ることについて</p> <p>(2) 電池、充電器、部品の修理代などへの助成の確立を図ることについて</p> <p>3 志田谷地地区住民が安全・安心に生活できる対策を講ずることについて</p> <p>(1) 志田谷地地区には、水防災拠点（避難地）が整備しているが、防災上の避難路の位置づけを明確化にすべきだが、どうか</p> <p>(2) 地区では、新たに水防災拠点へアクセスするための避難路の整備を切望されているが、その整備について伺う</p> <p>(3) 志田谷地地区に行くには砂崎橋、鶴田大橋、下志田橋、藤房前橋の4橋があり、いずれも橋の耐荷重の制限は14トン以下である。そのため、生活に著しく支障を期しているのが現状である。そこで、常襲冠水地区でもあり、陸の孤島にならないため、せめて国道から入る小川橋を整備し、下志田橋を一般道並みの橋、総重量25トン対応にし、橋のかけかえをすべきであるがいかがか、所見を伺う</p> <p>4 鹿島台中央野球場を大崎市民球場に格上げすることについて</p> <p>(1) 大崎市のスポーツ施設の充実の観点から、大崎市で一番充実した野球場である鹿島台中央野球場を大崎市民球場へと格上げし、仙台市民球場、石巻市民球場のようにすべきであるがいかがか、所見を伺う</p> <p>(2) ナイター設備の新設</p> <p>(3) 選手名表示可能スコアボードへの更新</p> <p>(4) 管理体制の充実について</p> <p>(5) 松山野球場、三本木野球場も含め施設を充実すべきであるがいかがか、所見を伺う</p> <p>1 生活困窮者自立支援法施行（2015年4月）後の対応について</p> <p>(1) 平成26年第4回定例会一般質問で、滋賀県野洲市の市民相談課の事例を紹介したが、その後の検討経過を伺う</p> <p>(2) 法施行を受けて、何をしたか</p> <p>2 放射性廃棄物の試験焼却について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
11	15	相澤孝弘	<p>(1) 住民説明会で理解が得られない場合でも実行するのか</p> <p>3 押印見直しガイドラインによる押印不要の検討結果は</p> <p>1 防災への取り組みと問題点について</p> <p>(1) 記録的な豪雨などによる浸水被害防止に向けた取り組みについて</p> <p>(2) 防災無線の効果と市民の評価にどう応えるのか</p> <p>2 入札・発注制度について</p> <p>(1) 積算単価に問題があるのか、応札、入札不調が続く中で今後どのような対応をしていくのか</p> <p>(2) 物品調達の際において、適正に公示から入札、納品まで行われているのか</p> <p>3 教育環境と現状について</p> <p>(1) 通学路の安全確保はどのように調査して実施されているのか</p> <p>(2) 教育の役割とその評価について</p>
12	27	大山 巖	<p>1 地域リーダー育成対策の問題について</p> <p>(1) 地域振興には自助努力に基づく地域の特性に応じた創造的な施策の展開が重要であると考え。今後の地域振興の中心とならなければならない実行力のある地域リーダーの人材を育成することが行政の責務であると考え。地域貢献の一つであろう。</p> <p>各自治体等ではいろいろな施策が講じられている。</p> <p>実例ア、佐賀県のある町では町民特別研修制度を設置、研修希望者は町に計画書を提出し、承認されれば国内外の先進地に15日以内の研修視察に対し50万円以内が支給される。</p> <p>実例イ、茨城県のある町では、社会構造の変化、文化意識の高揚、国際化の波などの変化する中で住民意識の改革を図り、21世紀に対応できる人材育成のため村民大学を開校している。</p> <p>本市においてもこうした人づくりのための施策を確立することについてどう考えるか、伺う</p> <p>2 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 通学路には歩道もなく、児童と車両等の間隔は1メートル以内の状況、登下校時に何の落ち度もない児童が車両にはねられて生命を落とすという痛ましい事故が相次いで報道されることが多く目にとまる。</p> <p>本市の通学路の危険箇所は大変多く存在しており、危険箇所の点検確認ができれば早急な対策が必要であると考え、いかがか伺う</p> <p>3 防犯カメラの設置について</p> <p>(1) 変質者またはそれに類すると思われる者による子供等の低年齢層を狙った誘拐や監禁事件が全国的に増加の傾向に見受けられる。通学路においては、残念ながら住居がまばらに点在しており、いざというときに子供が駆け込むことができる家がない地域もある。危険箇</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
13	16	富田文志	<p>所, 目の察知がなかなか困難な箇所等が多くあり, 心配の源である。本市において早急に防犯カメラを設置すべきと考えるが, 所見を伺う</p> <p>4 小学校の統廃合について</p> <p>(1) 少子高齢化が急速に進んでいる現状と財政が窮迫化する中, いかにより子供たちにとって最良の教育環境の整備を行っていくべきか検討し, 平成23年12月に住民説明懇談会やパブリックコメント等で貴重な御意見をいただき, 大崎市学校教育環境整備指針を策定することができた。子供たちにとって平等性と安全・安心を確保し, 望ましい教育環境を整備し, 地域の人々とともに充実した教育を目指していくとの方策に絶賛するものであるが, 以下の2点について伺う</p> <p>ア 岩出山地域において今後望まれる一貫校制度にできなかったのか</p> <p>イ 学校の名称を変える, 校歌も変える, このような状況でなぜ統合する場所が岩出山小学校なのか</p> <p>1 総合運動公園建設に向けた本気度について</p> <p>(1) 社会体育施設の現状と課題について</p> <p>ア 通常の維持管理と問題点</p> <p>イ 更新を迎えている施設の方向性</p> <p>ウ 施設利用拡大に向けた方向性</p> <p>エ 合併後に新設施設がつくられていないが, なぜか</p> <p>(2) 総合運動公園建設に向けた各種団体等からの提言や要望等について</p> <p>ア 体育団体からの要望等</p> <p>イ 子どもサミットでの市長の言葉</p> <p>ウ 建親会等からの提言</p> <p>エ その他総合運動公園建設に向けた提言や要望等</p> <p>(3) 総合運動公園建設に向けた本気度</p> <p>ア 交流人口拡大に向けた期待度</p> <p>イ 健康推進とスポーツの融合策</p> <p>ウ 10年後を目指した総合運動公園建設の方向性</p>	
14	29	小沢和悦	<p>1 生活困窮者支援事業について</p> <p>(1) 平成23年3月3日付で総務省自治税務局市町村税課長らから都道府県総務部長らに発せられた「生活困窮者対策等における税務情報の活用について」に基づく大崎市の対応について</p> <p>2 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 大崎市内で発生している鳥獣被害等の実態と, これまでの大崎市の対応について</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊と隊員報酬額等について</p> <p>(3) 農作物被害防止, 市民が襲われることのないような捕獲おりの確保等, 万全の対策に必要な予算の確保について</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	21	木内知子	<p>1 子ども食堂実現に向けて</p> <p>(1) 子ども食堂とは、経済的、時間的な理由等により、家庭的な環境の中で食事をする機会の少ない子どもに対し食事を提供する事業であり、背景には「子どもの貧困」がある。今、全国的には300カ所以上で活動、運営されており、NPO等だけでなく自治体も力を入れ始めている。</p> <p>子ども食堂は、ただ食事提供の場だけでなく、子どもが安心して生活し、豊かに成長できる「居場所」でもあり、多世代間交流にもなっている。</p> <p>本市の考え方と取り組みを伺う</p> <p>2 高齢者に優しい公民館施設を</p> <p>(1) 各種イベントでの公民館利用の際、高齢化に対応した施設改修の要望が多い。各地域の声にこれまでどう対応してきたのか。</p> <p>また、中でも松山公民館の主たるイベント会場のホールは2階で、階段の勾配も比較的きつく、上りおりに苦勞しており、エレベーター設置の声が多い。実現できないか、伺う</p>
16	19	氏家善男	<p>1 地区公民館のあり方について</p> <p>(1) 小学校の統廃合が進められ、地域の拠点となる地区館や地区公民館が生涯学習を拠点とする教育委員会所管では地域の活性化は図れない。市民協働推進部まちづくり推進課等に市長部局所管の地区館としてサポートし、地域の活性化を図るべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 放射性汚染物質処理について</p> <p>(1) 再測定46カ所の結果について</p> <p>(2) 市町村長会議の結果から、試験焼却は廃棄物を保管している自治体のみ行うのか</p> <p>(3) 廃棄物の処理量を県で調整するとあるが、県内すべての自治体を対象とするのか</p> <p>(4) 説明会を開催しているが、結果について</p> <p>3 鳴子ダム下遊歩道の整備について</p> <p>(1) 新たな観光資源としての整備計画について</p>
17	3	八木吉夫	<p>1 景気向上策について</p> <p>(1) 個人消費が進まない状況を打開する刺激策を伺う</p> <p>2 政策遂行に伴う職員研修について</p> <p>(1) 10年後の大崎市を創造するに当たり、研究課題を募り、先進地視察等の研修を実施すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 職員待遇について</p> <p>(1) 政策実現に向けてのマンパワーが不足している状況で、いかなる手立てを考えているのか、伺う</p>
18	18	後藤錦信	<p>1 大崎市における人口減少と地方創生について</p> <p>(1) 7地域の人口動向の現状をどう分析しているか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	6	中鉢和三郎	<p>(2) 選択と集中, 集約とネットワーク化の基本姿勢と過疎地域の振興について</p> <p>(3) 鬼首地域の持続可能な地域づくりについて</p> <p>2 観光振興について</p> <p>(1) 「TRAIN SUITE四季島」の受け入れ対応について</p> <p>(2) 鳴子温泉まちなかと潟沼をつなぐ市道新屋敷潟沼線の通行どめ早期解除について</p> <p>(3) 県道岩入一迫線通行どめの早期解除について</p> <p>1 警察署統廃合について</p> <p>(1) 「宮城県警が大崎市を管轄する古川署と鳴子署を統合し, 大崎署(仮称)に再編する方針を固めたことが10月5日, わかった。古川署の建て替えに合わせ, 大崎市全域をカバーする大崎署に一本化する。鳴子署は廃止し, 幹部交番となる予定」とは, 河北新報の記事である。</p> <p>全く事前の情報もなく, 寝耳に水的に新聞で統廃合のことを知らされ, 市民からは不満や不安の声が多い。警察行政は県の所管だが, 市民生活に大きな影響があるこの問題に対し, 市としてどのように対処する考えか, 所見を伺う</p> <p>2 JR東日本「TRAIN SUITE四季島」の受け入れ態勢について</p> <p>(1) 当初は来年の冬, JR東日本の「TRAIN SUITE四季島」が鳴子温泉に立ち寄る計画となっていたが, 先ごろ, 2017年度「東日本の旬」コースの設定が発表され, 8月17日木曜日に「四季島」が鳴子温泉にやってくることとなった。</p> <p>「四季島」の運行コースに鳴子温泉が選ばれたことはこの上ない名誉なことであり, 鳴子温泉にとどまらず, 大崎市のシティプロモーションにとっても大きな機会として捉えるべきだと考える。</p> <p>しかし, 受け入れ態勢を整えるには, 残された時間が8カ月を切り, 困難が予想される。いずれにせよ, この好機を生かすことが大崎市の観光政策上の至上命題であることは明白であり, 具体的にどのように取り組むのか, 所見を伺う</p> <p>3 観光交流課温泉観光推進室のミッションについて</p> <p>(1) 地元の要望, 期待を受け, 今春誕生した温泉観光推進室だが, 市役所ウェブサイトには担当業務として鳴子温泉地域の観光及び物産の振興, 温泉の利活用となっている。</p> <p>行政としては, 担当業務として掲げた内容を広範に進めたいと考えるのは理解できるが, 地元の声としては, 早急な鳴子温泉地域の観光振興による賑わいの再生が喫緊の課題である。</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	1	佐藤仁一郎	<p>関係者の思いは、限られたマンパワー等資源を有効に活用し、一刻も早く鳴子温泉郷再興の「のろし」を上げてほしいと願っていると考えるが、同室の設置経緯とこれまでの活動経緯は、そうした地元の思いに寄り添うものか、所見を伺う</p> <p>1 学校、家庭、地域の連携による協働教育の充実について</p> <p>(1) 中学校の志教育や協働教育の推進は、先生方の心身の負担になっていないか</p> <p>(2) 地域全体での支援体制づくりが必要と思うが、いかがか</p> <p>(3) 地域に根差し、継続していくためには、行政のサポートが求められると思うが、いかがか</p> <p>2 頻度を増す自然災害に向けての備えについて</p> <p>(1) 屋外拡声機の課題と活用策</p> <p>(2) 自主防災組織代表者用個別・車携帯型受信機の有効活用策</p> <p>(3) 水害情報等のマスメディア活用策は</p> <p>(4) 水害に備えた良品質の土のう、トンパックの備蓄、用土等を確保しておくべきではないか</p> <p>(5) 三本木新町第一排水機場の工事進捗状況を伺う</p> <p>(6) 指定避難所への道筋である県道、国道の冠水対策を国・県へ要望すべき</p>
21	11	横山悦子	<p>1 地域課題、問題点について</p> <p>(1) 陸羽東線塚目駅周辺整備について</p> <p>ア 陸羽東線塚目駅周辺整備における本市の方向性と構想について</p> <p>イ 地域住民との協議や問題、進展性について</p> <p>ウ 駅舎等 J R 東日本旅客鉄道との協議や塚目駅整備に関する予算について</p> <p>(2) 緒絶川沿いの通行者の安全対策について</p> <p>ア 緒絶川に防護柵設置の考えについて</p> <p>イ 小型除雪車の導入について</p> <p>(3) 東北新幹線沿線の騒音・振動問題について</p> <p>ア 大崎市環境審議会の学識経験者からの助言について</p> <p>イ 低周波の測定について</p> <p>(4) 古川江合地域の冠水対策について</p> <p>ア これまでの江合錦町、寿町、本町の冠水調査結果について</p> <p>イ 新幹線沿いの水路排水経路の計画と住民説明会について</p> <p>2 病院事業について</p> <p>(1) 新築移転して2年目、心臓血管外科、呼吸器外科や周産期医療（NICU）の現状と問題点について</p> <p>(2) 大崎市民病院は小児科以外、原則紹介予約制としているが、患者様が紹介状をいただくタイミングはどのときか、かかりつけの病院との協議について伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 大崎市民病院利用者に対する柔軟な対応について</li> <li>(4) 難病患者様への対応として、大崎市民病院における難病症例の紹介について</li> <li>(5) 眼科外来での個人名の呼び出しの配慮について</li> <li>(6) 旧市民病院本院南病棟の今後の活用について</li> </ul>	